

農林水産部



説明会には多くの方々に参加いただきました

「食事バランスガイド」の普及方法について説明しました。最後に、県内において「食事バランスガイド」の普及

沖縄版「食事バランスガイド」説明会を開催
食育月間の最初の取組として、沖縄県及び(社)沖縄県栄養士会と共催した説明会には、市町村の健康増進担当者、食生活改善関係者、食品関連事業者等から150名に及ぶ参加者がありました。

本説明会では、まず沖縄県が食育推進に関する県の施策やその取組状況について説明し、次に(社)沖縄県栄養士会が沖縄版「食事バランスガイド」の基本的な考え方やその活用方法について説明しました。最後に、県内において「食事バランスガイド」の普及

及・啓発に取り組んでいる活用事例を宮古島市福祉保健部から「宮古ケーブルテレビを利用した食事バランスガイドの活用方法の取組」について発表していただき、食品関連事業者からコープおきなわの取組について紹介していただきました。



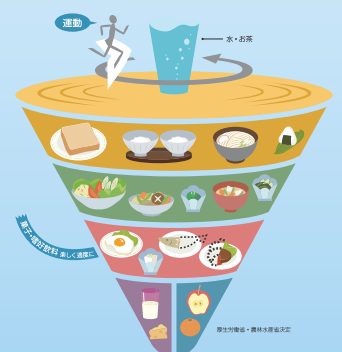
パネル展示、パンフレット等配布

食事バランスガイド関連のパンフレットの人気は高く、多くの参加者がパンフレットをお持ち帰りになりました。



皆さんは「食育月間」をご存じでしょうか。食育月間とは、食育を幅広く普及させるため、食育推進運動を重点的に実施する期間です。毎年6月に実施され、期間中は全国各地で様々な取組が行われています。沖縄総合事務局でも関係機関と連携し、食育月間に様々な取組を行い、食育の普及・推進に努めました。

平成21年度「食育月間」における食育推進の取組について



いちやりば食育ネット情報交換会を開催

去る6月30日に、那覇第2地方合同庁舎において「いちやりば食育ネット情報交換会」を開催しました。「いちやりば食育ネット」は、主にホームページ上で食育に関する情報の受発信を行うことを目的に設置されたものですが、今回、会員が一堂に会し、それぞれの食育に関する取組状況について情報交換を行うことにより、県内における食育推進活動をより一層の促進を図ることを目的に開催しました。



意見交換会風景

情報交換会においては、「地域に根ざした食育コンクルの支援」、「食料自給率や食品の有効利用の観点から注目されている、食品残渣を活用した取組」、「保育園でゴーヤージュースを作った取組」、「小学生と家族を対象とした食育教材プログラムの取組」、「学校給食を生きた教材として活用していく取組」、「食育シンポジウムや食育パネル展の開催」、「地産地消の推進」、「農山漁村ふれあい体験」、「学校に食育菜園を増やしていく取組」、「地元食材を使った調理実習」等出席した会員から取組状況について説明がありました。

事務局からは、各会員のホームページをお互いにリンクさせることや会員相互がメールを有効に活用し情報交換を行うこと等、「いちやりば食育



沖縄総合事務局1階 行政情報プラザ

ネット」をより効果的に活用するための提案を行い、全会一致で了承されました。

最後に、さらに連携を深め県内における食育の推進に努めていくことを確認し、情報交換会を終了しました。

食育パネル展の開催

食育月間期間中において、沖縄総合事務局1階に設置されている「消費者の部屋」や行政情報プラザのほか、沖縄県が開催した食育月間パネル展（県庁県民ホール）に「移動消費者の部屋」を設置し、食育や米の消費拡大に関する各種パネルを展示するとともに、食に関する様々なパンフレット等を配布し、食育のさらなる普及に努めました。



県庁県民ホール

本年度、沖縄県内において実施される食育関係補助事業（農林水産省関係）の概要

◎食育先進地モデル実証事業

沖縄県生活協同組合連合会が事業実施主体となって、沖縄県の機関及び広域団体並びに市町村自治体、民間業者及び新聞社等と連携し、県内において「食事バランスガイド」を活用した「日本型食生活」を推進する実証事業を行います。

◎教育ファーム推進事業

社団法人農山漁村文化協会が事業実施主体となって実施する「教育ファーム推進事業」に「伊江村立西小学校教育ファーム推進協議会」が協力団体として採択され、今後の教育ファームの拡大・啓発に役立てるモデル実証を行います。

最後に...

沖縄総合事務局では、沖縄県をはじめ関係機関と連携して日頃の食生活を振り返ってもらうため「食事バランスガイド実践週間」を実施しました。これは、参加者に「週間の食事内容を記入してもらい、「食事バランスガイド」に照らし合わせながら、バランス良く食事ができているかを確認していただく取組です。実践結果につきましてはホームページ等を通じてご紹介する予定です。